

青大祭と環境省Re-StyleFES!のコラボレーション

(青森大学)

青森大学では2019年に、環境省が行ったイベント「環境とエンターテイメントの祭典 Re-StyleFES!」の大学学園祭コラボレーションに東北地区で唯一選ばれ、青大祭の模擬店でリユース食器を使用しました。



ゼロ蔵

リユース食器を導入してみてどうでしたか？



学生Aさん(青大祭実行委員会)

今回、学生が主体になっている店舗は全てリユース食器導入の協力をお願いしました。ありがたいことにいくつかの学生以外の参加団体の方にも協力していただけました。

事前にスタッフ用のリユース食器運営マニュアルを作成して配ったり、協力団体に向けて説明会を行ったりしました。

リユース食器は、横17×縦10×深さ3.5cmのトレイ1種類のみを使い、焼きそばやフランクフルト、おでん等を販売しました。



学生Bさん(青大祭実行委員会)

リユース食器の回収率ですが、環境省HPによると、2日間で95%だったそうです。袋を持って歩きながら返却を呼びかけたこともあり、1日目より2日目の方が改善したと感じています。

お客さんからは「ゴミ箱と回収箱の違いがわかりづらい」「容器の種類が少ない」という声がありました。

2日目は雨が降ったので、テイクアウトする人が多く、リユース食器があまり使われませんでした。飲食スペースが少なかったかなと思います。



ゼロ蔵

なるほど～。

リユース食器を使ってみて、良かったと思うことはありますか？



学生Aさん(青大祭実行委員会)

学生やお客さんからは、ごみに対する関心が深まったとの声がありました。

実行委員会としては、プラ容器を買う費用が安くなったことや、ゴミ箱の袋を交換する回数が減ったことが良かったと感じました。

リユース食器を使うには人手が必要なので結構大変ですが、またリユース食器を使いたいです！



ゼロ蔵

環境にやさしいだけでなく、実行委員会にとっても、いいことがたくさんありますね！

これからもプラごみ削減のために一緒にがんばりましょう！

